

B・C・S ネットワーク

大宮中学校区 保・小・中学校連絡だより

第148号

2013年9月25日発行

3小5年生スポーツ交流会～B・C・S～



9月9日月曜日、午後から大宮西小学校で、3小（生江小・城北小・大宮西小）の5年生が集まり、スポーツ交流会を行いました。ドッチボールやミニ綱引き



きを通して、互いの交流を深めました。3小の児童が混じり、6人～7人で1つのチームを作りました。ドッチボールでは、5分間という時間でボールを2個使い、2コートに分かれてゲームを行いました。初めはお互い緊張もありましたが、ゲームが始まると1つになって、がんばっていました。ゲームの合間には作戦タイムをもつなど、交流を深めていました。ドッチボールが終わると、その日の日射しも強く、暑かったので5分間の休憩をとりました。木陰で休む児童、遊具で遊ぶ児童、チームで一緒にいる児童などさまざまでした。次にミニ綱引きを行いました。トーナメント形式で行い、各チーム2列になり、先生の合図でゲームを始めました。すぐに勝敗がつくチームもありましたが、お互いに力が互角で長い間、引っ張り合った場面もありました。周りの児童もその様子をじっと見守っていました。この日は非常に暑かったですが、みんな大きな声で最後にあいさつをして、楽しく終わることができました。

思い出ができた「林間学習」～大宮西小学校～

7月20日～22日の3日間、5年生はハチ高原へ林間学習に行ってきました。1日目の朝、みんな元気に登校してきました。そして、49人全員でハチ高原へ向けて出



発しました。1日目の活動は、魚つかみ・オリエンテーリング・キャンプファイヤーでした。魚つかみは小川に入って魚をつかみました。うまくつかめない子には、魚と一緒に探したりつかまえた魚を渡したりしていました。そして、つかまえた魚を



焼いてもらいおいしくいただきました。オリエンテーリングは、班ごとにそれぞれのポイントをまわり、そのポイントでの課題に協力して取り組みました。キャンプファイヤーは、「火の神」の登場や燃える炎を前にして、この日いちばんの盛り上がりでした。キャンプファイヤー係を中心に、計画した出し物が次々と出てきました。炎と同じように、みんなの心もひとつになったようでした。2日目の活動は、鉢伏山登山・カレー作り・キーホルダー作り・ナイトハイ



クでした。最初は鉢伏山登山でした。少しずつ坂が急になりしんどくなっ



てきましたが、励ましあい登って行きました。途中から尾根に沿った山道になり、吹き抜ける風が疲れを少し取

ってくれました。最後の坂道を登りきると、そこは鉢伏山頂上。49人全員が鉢伏山に登頂することができました。ほかにカレー作りやキーホルダー作りに取り組みました。またナイトハイクでは、暗い林の中、静かに歩くと生き物の鳴き声や暗闇の林の様子が伝わってきました。3日目は、丸太切り体験で、のこぎりで切る経験はなく苦労しましたが、応援し声をかけ合う姿も見られました。切り終えたときの喜びの声もありました。疲れた子もいましたが、それぞれ充実した表情を浮かべていました。林間学習はこれで終わりですが、ここで得た経験はこれからの学級活動や仲間づくりに大きく役立っていくでしょう。これからも仲間の絆を強めてほしいと感じました。

クリーン作戦～生江保育所～

年少から年長まで保育所内をきれいにするクリーン作

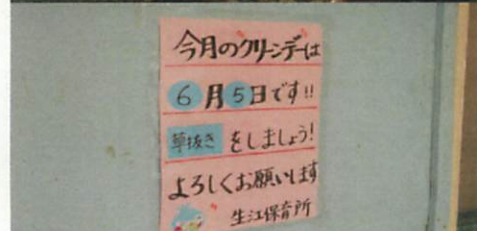
戦を行いました。保護者の方の協力もあり、庭の手入れや草抜きもしていただきました。子どもたちは、保育所内にある野菜栽培の手入れを



行ったりもしました。お鉢に入った土の雑草を抜いたりし、ミニトマトも少しずつ大きくなってきました。畑にあるたまねぎも、雑草をとり、水やりをしてしっかりと



したものができあがってきました。また、クラスによっては部屋の中にある畳を上げ、ぞうきんがけをするなど、床をきれいにしていきました。先生の合図で横1列にならび、「よいどん」とかけ声をかけ、みんなできれいにしていきました。保育所内をみんなでいっせいにきれいにするたいへん気持ちのいい取り組みができました。



8・6 平和登校日

～生江小学校～

8月6日は、ヒロシマに原子爆弾が投下され多くの尊い命が失われた日です。生江小学校では、毎年この日を、平和登校日としています。

まず、講堂で全体集会をしました。1分間の黙とうの後、校長先生から「おりづるの旅」という絵本の読み聞かせがありました。「おりづるの旅」は、被爆した佐々木禎子さんが「生きたい」という願いを込めて千羽鶴を折り、その思いが人々に広がっていくお話です。また、6月の「ピースサイクル」に参加した子どもたちからの報告会もありました。「二度と戦争を起こしてはいけないと思いました」という発表に、子どもたちはじっと耳を傾



けていました。その後、子どもたちは各学年に分かれて学習しました。そして、全校児童で6年生が修学旅行に持っていく千羽鶴を折りました。折り紙にメッセージを書き、平和への願いを込めて、一生懸命折っていました。6年生は、全学年に分かれて折り鶴の折り方を丁寧に教えていました。後輩たちに囲まれて折り方を教えている表情はとても充実し

ているようでした。子どもたちが「平和と人権」の大切さを考える日として、平和登校日の取り組みを今後も続けていきたいと思います。

5校民族交流ディキャンプ

～城北小学校～

7月29日（月）に城北小、生江小、高殿小、大宮中、旭陽中の民族学級の子どもたちが集まり民族交流ディキャンプを行いました。午前中は、韓国・朝鮮の遊び（ノルティギ・クネティギ・ペンイ・トゥホ）を行いました。お昼には、ウリナラ冷やし麺を作りみんなで食べました。午後からは、テコンドー・プチェチュン・



サンモに分かれて練習し発表会を行いました。その後、シチャンポギ（買い物）を行いました。子どもたち



は、韓国・朝鮮の言葉で思い思いの物を買っていました。中には、交渉して値引きしてもらった子もいました。

5校の民族学級が集まり活動するのは、年に3回ほどしかありません。この機会に新しいチング(なかま)をたくさん作ることができ、とても楽しく活動することができました。

緊張しながらも頑張った2年生職場体験学習

～大宮中学校～

9月12日(木)13日(金)に教育・保育・福祉・販売・工業・動物など地域の41の事業所に職場体験学習(チャレンジワーキング)を2年生が取り組みました。大切な仕事に、仕事内容や心構えなどを教えて頂きました。日常の学校生活と違った中での2日間でした。職場体験を終えて帰ってきた生徒の顔には疲れと達成感の両方がありました。



事前に、生徒は事業所の担当者の方との打合せを行いました。当日までに挨拶など話し方や状況に応じた行動の仕方などについて考え、体験学習の日を迎えました。



この体験を通して働くことについて考え、今後の自分の生き方や進路選択に役立てることや、人と接するときのマナーやあいさつの大切さについてしっかりと感じてもらったことと思います。生徒は「最初は緊張して思うように声が出ませんでした。でもていねいに教えてもらって出るようになりました。」「いつもよりも疲れて、働くことの大変さを少し感じました。」などたくさん伝えてくれました。事業所のアンケートには、「きちんと挨拶や受け答えができて気持ちよかったです。」「作業する際の集中力は大変よかったです。あと、かけ声があればと思いました。」「この体験を機に今後さらに成長してくれるとうれしいです。」など、たくさんの言葉をいただきました。来年度の取り組みに活かしていきたいと思います。お世話になりました多くの皆様、ありがとうございました。

